

(参考資料)

## 保育園児と幼稚園児との交流保育実施園における 保護者へのアンケート調査結果〈自由回答のみ〉

ここでは、施設を共用し、交流保育を実施している保育所・幼稚園において、5歳児の保護者を対象として行ったアンケート調査のうち、自由解答の結果を付記する。なお、調査の概要は、下記の通りである。

1. 調査方法：アンケート調査
2. 調査時期：2003年2月
3. 回収率：保育所 92.9% (13)、幼稚園 88.9% (40)

### ■■■ 保育園 ■■■

#### (1) 交流保育(合同保育)が子どもに与える良い影響

- 行事が増えることで色々な経験ができて、友達も増える
- 自分というものが本能的に理解できると思う。
- よい影響だと思う。子どもは楽しかったこと遊びがすべてで、一緒に共有できる時間の中で得たものは大きい。
- ふつう保育園児は地域の友達とかかわる機会が少なくなりがちだが、幼稚園の友達がいることで、交友範囲が広がって、親の目からみても安心感がある。
- 色々な友達とたくさん遊べること、幼稚園の行事にも誘ってもらい、保育園だけより様々な経験ができること。
- お友達が増える。
- 保育園児は人数が少ないので、多くの子どもとあそぶ機会があるというのは、とてもよいことだと思う。名前を覚えていなくても、親しみがあるようだ。小学校入学時にも心強い。子どもたちは幼保に関係なく遊ぶときは遊ぶ。どちらの先生もほとんどすべての子どもの名前を覚えている。
- 人数の少ない保育園に比べて、幼稚園のように人数の多いのに慣れてくれ、いつもと違うお友達と遊び、違った見方ができるようになり、小学校への不安を消してくれた。
- 同じ小学校へ行くので、子ども同士がなかよくなれる。
- 学区が一緒の小学校に上がる子と顔見知りになれる
- 他の保育園と違いお友達がたくさんでき、お互いに色々なことを学んでいける気がする。
- たくさんのお友達と知り合うよい機会となり、多くの刺激をうけることができる。同じ地区の小学校へ行くため、小学校へ行ったときに心強い。

## 2. 交流保育（合同保育）が子どもに与える気になる影響

○悪口。幼稚園のお母さん、保育園のお母さんでもそうだが、一人親で育てている家庭に対する差別的な言葉。

○帰宅時間、夏休みなどの違いについて子どもから疑問をぶつけられることがあるが、その都度それぞれの家庭の事情だということを子どもがわかるように話をしている。

○「何で幼稚園は早く帰れて私は帰れないの、ママ仕事やめて。」と言われるのがつらい。

○保育園さん、幼稚園さんと呼び合っている。

○この園では、幼稚園さんの行事にほとんど保育園児も参加させてもらっている。気になることは特になし。

○保育園の方が保育時間が長いことと、竹馬など親が手伝ってあげているところが本人は気になったようだが、時間が経つと共に理解してくれるようになった。

○幼稚園児と保育園児の家庭環境の違い

○時間が長いので、幼稚園と違う部分があるので、その辺がちょっと。

### （3）交流保育（合同保育）が保護者に与える与える良い影響

○幼稚園の先生にも声をかけてもらえ、心強い

○お友達（子ども同士）が増えてよい。

○人はどんな環境であっても、差別なく友達になれること。

○登園時間もまちまちな保育園にあって、幼稚園のお母さんたちと顔をあわせることで、知り合いになれる人数が増えたことはよかった。（話をする時間はなかなかないが）

○幼稚園の保護者のご尽力はとてありがたい。協力できることは積極的にしていこうという保育園児の保護者も多く、他園にありがちな園におまかせという保護者ばかりでなくなったのはよいことと思う。忙しいので日ごろ幼稚園の保護者に会う機会は少ないが、小学校入学時など心強い。

○いつも、でてこない友達の名前がでてきて、「～～して遊んだよ」などと聞くとほっとする。そして小学校のわからないことを教えてくれる（幼稚園のお母さん）ところ。

○子どもに園以外の友達ができる

○保育園は人数が少ないので、少数人数で慣れているので、幼稚園の多数人数で人見知りしなくなるような気がする。

○子どもたちのかかわりをきっかけに、親同士のかかわりがもてるきっかけをもてる。

### （4）交流保育（合同保育）が保護者に与える気になる影響

○保育園のお母さんは楽しんでいるように思われること。子どもを預けっぱなしで働いて、楽しんでいるように思われる。

○気になる影響といえるかわからないが、子どもの前で親同士があいさつをかわさないと、子ども同士も仲良くなれないと思う。お互いにもっと歩み寄る必要があると思う。

○後から保育園ができたためか、幼稚園になんとか遠慮してしまう。園庭にしても、なんか幼稚園に貸してもらっているよう。

○幼稚園の保護者の負担が大きいと思うので、不満に思われていないか気になる。（幼稚園のお母さんたちががんばってくれる行事に参加できたり、園内の清掃など幼稚園の保護

者がやってきれるので)

○送迎の時間の差で普段会わないので、子どもたちは仲良く遊んでいるようだが、なんとなく幼稚園のお母さん vs 保育園のお母さんみたいなところがある。(時間が重なると車の駐車スペースがない)

○幼稚園で教育してくれることを保育園でしてくれるのかなと思う。

#### (5) 交流保育(合同保育)についての自由意見

○垣根を作らずにお互いのクラスをいったりきたりしながら楽しい時間をすごしているようで、いいと思う。行事も一緒に参加することが多いので、楽しさも2倍になっていると思う。

○厚生と文部の違いか、だいたい人の知識が薄い。まず出産して働く女性に対する意識をどこまで理解しているかも不思議である。それがあきらかではないから、交流保育で保育園児の方がお世話になっている思いが強くなっています。それだけではないが、「お金を支払って学んでいるとお金を支払って預けている」の立場で、「支払って学んでいる」立場が強く感じる。交流保育でも「ご一緒に参加させていただいている」と思っているのは保育園の側なのではないか。

○せっかく子ども同士、先生方も一緒に活動をしているので、親も一緒に活動できる機会を作ってもいいのではないか。(半年に1回でもいいから土曜日に合同で遊ぼう会などを開く)

○保育園、幼稚園で子ども同士が顔見知りでも、親同士の交流が全くない。朝、当園時にも親同士のあいさつがほとんどない。交流があるのなら親同士もと思うが。友達の名前で呼び合ったらとも思う。保育園のお母さんは忙しくて、朝はあわただしい。幼稚園のお母さんはみんなでかたまって話し込んでいる姿も。

○交流保育については是非他園でも実施して欲しい。この園にはいるにあたり「幼稚園の子どもが早く帰宅するのを見せ付けられ保育園児はかわいそう」と誤解された。私は気にならず、子どもも寂しがったりうらやましがったりというころはなかった。待機児童解消のためにも、こういった誤解や省の違いといった問題をなんとかして、幼保一体化を進めて欲しい。下の子ども是非この園に入園させたいが、希望者が多く無理。幼稚園を選ぶように、保育園も保護者が選べるようになれば良い。

○もっともっと交流がもてると良いと思う。(時間が違うので大変)

○幼稚園にお友達ができ、行事もあたくさんあり、子どもが楽しそう。

○他の保育園にない生活ができるので、すごく交流保育はよいと思う。

## ■ ■ ■ 幼稚園 ■ ■ ■

### (1) 交流保育（合同保育）が子どもに与える良い影響

- 友達が増える。イベントとしてもうけている交流保育仲良し会をたのしみにしている。
- あかちゃんや小さい子とふれあったことで、自分はおねえちゃんになったつもりでしっかりしてきた。
- 年下に対してやさしい気持ちをもつことができ、お世話を積極的にするようになった。
- 小さい子に対する接し方
- 小さな子に優しくしてあげたり楽しませてあげたりする。小学校に入ったとき、知っている顔が多ければ多いほど安心すると思う。
- 近所の保育園の友達、あかちゃんに幼稚園で会えるので、子どもが楽しみにしている。赤ちゃんとかかわりを通して、優しい気持ちが育っているようだ。
- 友達がの輪が広がり、小学校へいったからもひとりでも多くの友達がいると安心する。
- 年下の子を思いやる心がより育つし、地域との交流の場も増えると思う。
- 自分の年齢より小さい子がいると手助けをしたり、世話をしたりすることにより、自分に自身がついたようだ。
- 0～1歳児の手伝いを喜んでしている。友達が増えたことを喜ぶ。
- 自分よりも小さい子に対し接することにより、思いやりが育つと思う。
- 年齢のわけへだてなく交流でき、子どもたちの中で自然に縦の関係ができよいと思う。また、協調性も生まれ学校生活の準備が本人の中でできていると思う。
- 保育園児は早くから親から生活をしているため、子どもながらに自分より小さい子が自分のことは自分でしているのを見て、自分で何でもという意識が持てた。
- いつもと違ったお友達を遊べたり、学んだりできてよいと思う。
- 保育園児の交流で幅広い年齢の幼児、乳児とかかわりをもつことができよかったと思う。
- 年齢の違う子と一緒に遊べることを喜んでいる。
- たくさんの友達を作る機会が増えるということ。色々な家庭環境の子と接することができるということ。
- 保育園の小さい子どもの世話をしてきたととても嬉しそうに話す。異年齢の子どもとの交流が子どもの成長にプラスになっていると思う。
- 幼稚園児とは違った家庭環境の子と交流があり、父母への思いやりが育った。
- 幼稚園の友達と違う新鮮な感じがする友達ができること。
- 子ども自体は保育園児と幼稚園という区別はなく、一緒になって遊んでいる。ただ、園側がこの時間は幼稚園が使い、保育園児ははいらないという区別をしすぎていると思う。行事だけの交流では足りないと思う。
- 年齢の違う子と出会い、また友達ができて楽しんで通っている。（あかちゃんを見たりとてもよいことだと思う。）
- かかわる子どもの数が増えるのでそれなりに色々な友達のかかわりの場面も増えてよいと思う。小学校へ行ったときも顔見知りの子がたくさんいたほうが安心。保育園との先生

とのかかわりも担任以外の指導者としてよいかかわりがあると思う。

○一番に、自分より小さい子どものことを気にするようになり、面倒を見なくては、という目をするようになった。子どもが少なくなってきたので、小学校へ上がる時、たくさん知っている子どもがいると安心感が子どもにもある！

○遊具などはこれは小さい子用など自分たちで決めて遊んでいる。

○実際保育園との交流がどのくらいの年齢の子まで対応しているのかわからないが、もし、自分より小さい子とあそんでいるなら、弟妹がいない子は特に近所の子と遊ぶことが少ない現状ではよいことだと思う。やさしさや思いやりがはぐくまれるのではないかな。

○自分より小さい子に関心を持ち、自分の中で何かを感じ取ってくれればと思う。(よい意味で)

○自分とは違う生活リズムの同年齢の子がいることを自身で知ってきた。自分には母親がいてほしいときに必ずそばにいてくれると感じたことがあると話してくれた。

○友達が増えてよいと思う。

## (2) 交流保育(合同保育)が子どもに与える気になる影響

○保育園の子は寂しくて自分は母親とられるから自分が幸せ、保育園の子はかわいそうと優越感?を感じている(??)ようなことを言う。

○保育園児から見ればやはり幼稚園での生活のほうが魅力的に見えてしまうことが多いのではないかな。

○保育時間の違いで家庭環境、親子の立場、自分の立場などを知ることができる。

○遊びにおいてる流行など(ゲームなど)ひとりが持っている(会話のなかでも)つられて欲しがってしまう。大きな集団になるので、考え方が単調になってしまうのでは?全員がひとつの方向への考えになってしまうかも。

○保育の場と教育の場が同じ場所で行われることで、子どもがその違いに気づいて羨ましがったり、どうして同じことができないかと思わないか心配。

○子どもたちは保育園児との違いははっきり理解しているのか!?

○子どもが夕方になると保育園はお母さんたちが迎えに来てくれるのかなとか、よく聞いてくる。相手を思いやる気持ちももてることにつながるのだから、こちらは良いと思う。

○保育園は給食、幼稚園はお弁当ということで保護者が考えるほど(給食が食べたい子がいるのでは?その反対も)子どもは何も気にしていないようだが、一緒に保育を受けたときは同じものを食べるのもよいのではないかなと思う。施設が許すなら給食も経験させたいと思う。

○園庭で遊んでいても保育園児と一緒に遊ぶことがないようだ。

○今思うのは、給食。幼稚園はお弁当を親が作ってくれているので、お昼を一緒に食べる時はお互い子どもたちはどう思っているのか気になる。

○保育園は私服、幼稚園児は制服、子どもなりに”服”で分けて考えている。学校へ行けば同じクラスで一緒だよと教えても”今は別”と思っている。

### (3) 交流保育（合同保育）が保護者に与える与える良い影響

- 小さな保育園のこどもたちの姿をみることができほほえましい。
- カレーを作ったときに保育園の調理室を借りられること。
- 小さい子の面倒をみてあげた、遊んであげた、と子どもから聞くと、自分の子どもが優しくなった気がして、親としてうれしい。
- 近所の保育園の友達、あかちゃんに幼稚園で会えるので、子どもが楽しみにしている。赤ちゃんとのかわりを通して、優しい気持ちが育っているようだ。
- 下の子がいないので、異年齢の子どもたちのお世話する機会があり普通ではできないこともでき、良い経験である。また、友達が増えるのも嬉しい。
- 朝のあいさつを交わしたりすることは、今後互いにとってよいことだと思う。
- 保育園と幼稚園は区別しなくても良い。同じ一日を過ごしておかしくないと思うようになった。
- 子どもが「保育園の〇〇ちゃんと〇〇したよ」と話すことで成長を感じる。
- 保護者の間での交流など一切ない。その理由は子どもたちを預ける理由が違うから。保育園は働くための一時預かり所、幼稚園は子どもらしく育てるところと根本的に保護者の中で違うため。
- 子育てをしながら社会人として活躍していて尊敬もするが、羨ましくもある。保育園の親を見て接する時間が短いため、子どもとの時間を大切にしているのかなと思い、自分も子どもとの時間を大切にしないとと思う。
- 子どもは幼稚園へ通園させているが、保育園の様子がわかったこと。
- 保育園児がよくあいさつをしてくれる。
- 親に対しての理解力が早い（働く親への）
- 子どもの話を聞く限り、悪いことは思えないので、よいと思う。
- 幼稚園のPTA活動の中のバザーの時など、品物を提供してもらったり、買い物をしてもらったり、協力をしてもらっている。
- 保育園の先生方にいつも声をかけられ、とても安心でき、幼稚園にかよっているのに保育園にも通っているようで、子どもも見てくれる目が増えて大満足している。先生が少なすぎるので、もし変な人が園にはいってきても両園の先生がいるので安心できる。
- 小学校へあがったときに顔見知りであることはとても心強い。幼稚園だけのお母さんたちだけではなく、輪がひろがると思う。
- 自分より小さい子の面倒を見てくれる。
- 色々な家庭環境の子と知り合ってくれたことで、将来社会復帰しやすい。

### (4) 交流保育（合同保育）が保護者に与える気になる影響

- スーツ姿で忙しそうに送ってくるおかあさんを見ると、自分がとてもぐーたらな母親に思える。
- 知り合いの母親同士以外の交流はないが、子どもの数が多いので幼稚園だけより安心感がある。（小学校に上がった時、幼稚園のお母さんは専業主婦が多く、保育園のお母さんが働いているのを見るとあせる??）自分も働きたくなるが子どもがかわいそうな気がする。

○保護者で交流がどうか気にしている人は少ないと思う。これを解決するなら行事等も一緒に行くなど、先生方が交流の場を作るしかない。今の現象は園庭で子どもたちが一緒に遊び、色々なことで自分で学ぶことができるメリットしかないと思う。もうひと工夫を。  
○保育園児は朝早く、夜遅くの生活をしている子が多いと思うが、お昼寝で睡眠時間を補っていると思うので、お昼寝の時間帯に幼稚園はお迎えなどでなるべく園から帰るように注意している。

○保育園児は帰るのが遅くていいとか、自分をもっと遊びたいと言う。

○幼稚園は保護者の協力があってその部分は大きい。保育園は保護者の協力があまりなく、幼保一緒の行事が増えれば幼稚園の保護者の負担が増えるのでは。

○幼稚園側の親としては、もう少しメリットが欲しい。園外保育に行くときなど、保育園児も連れて行くが、親の付き添い（ボランティアだけで）が幼稚園側だけなので負担が多くなる。理由があるときの保育延長とか給食の合同実施など考えて欲しい。

○保育園児の保護者と接することは朝のあいさつ程度なので、特に気になることはない。

○バザーなどの準備の時に空き教室がないので少し不便。

○行事は一緒にやるかもしれないが個々でのふれあいが少ない。

○特に悪い、気になる影響はない。子どもにとっても親にとっても視野を広げられてよいのでは？

○少しけががあった場合に困る。

#### (5) 交流保育（合同保育）についての自由意見

○保育園と幼稚園の交流がなかなか親に対し伝わってこない。交流保育の場面を親に見せて欲しい。子どもが親に話さない限り交流のよさがわからない。

○特になにも変わらない。交流保育でも先生方は大変かと思うが、保護者にとっては特に心配も大変なこともない。

○幼稚園児も夕方まで預かってほしい。

○年齢の違う子どもと接することで、子ども自身の成長にプラスになることが多いと思われ、よいことだと思う。

○幼稚園と保育園の交流ではなく、そのほかの（中学、父兄の行事への参加、地域住民とのふれあいなど）の方が今の幼稚園の良いところ、これを見習って欲しい。

○普段親は幼稚園にいるわけではないので、特別なことがない限りよくわからないことが多いが、カレー会食など保育園があるからできることもあり、お互いに良い部分をだして助け合いながら協力して生活ができれば良いと思う。

○交流保育を見たことがないのでよくわからない。

○幼児の降園後、園庭でいつまで遊ばせてよいか悩む。保育園児がこの後使用するのかな？などお昼寝の邪魔をしていないかなど・・・

○交流保育だからどうなったとか特になし、気にならない。かえって先生方の目が増えるので安心。

○実際に交流の場面を目にする機械があまりないので、良くわからないが、いろいろな年の違う子どもたちと触れ合うことができるのはいいことだと思う。

○新しい友達もいっぱい増え、色々なこともまなんでくるので良いと思う。

○幼稚園に入園させる前は保育園児は小さいときから集団生活をしているので、園庭で一緒に遊んでいるときに元気がよすぎて圧倒されてしまうのかなと思ったが、逆にルールをしっかりとわきまえているので、トラブルもなく遊んでいるようでした。つきに一度くらいある交流保育仲良し会は子どもにとって楽しいイベントになっているようです。こどもにとっては特別な環境という意識はなく、普通のこととおもっているようだ。

○色々な年齢の子たちと遊ぶことはお互いにとてもよいことだと思う。自分より大きな子からは学ぶことがあると思うし、逆に小さな子には教えてあげたり、やってあげたりと優しさや思いやりの気持ちが自然と芽生えると思う。

○幼稚園だけでは子どもの数が少なくて遠くの園に通うことになるのなら、幼稚園と保育園を一緒にして数多くの園を作ったほうがよいと思う。子どもをつれて歩くので、遠いと思うのが大変なので。でも、保育園とは本当のところあまりかわりがないと思う。子どもも知り合いがいなければわざわざ2階に行って遊ぶこともない。本当に同じクラスになれば別だが。だとすれば、こだわらず、気にせず、お互いに園を共有して近くに園を作るべきだと思う。

○幼稚園・保育園の両園長先生が大変熱心で、仲が非常に良い。貸したもったり貸したり、もちつもたれつの協力的でとても良い関係だと思う。園行事のみならず、保育園の行事も参加でき、他園より得をしていると思う。保育園があるからこそできることもたくさんある。もちつきやカレー会食など本当に恵まれていると思う。感謝している。

○子どもたちのみの交流なので、親たちは知らないことが多く、あいさつだけでもできたらお互いにいいのと思う。保育園の子どもは「しっかりしている」とよく言われ、身の回りのことが幼稚園の子よりよくできると思う。同じ歳なのと思う。「しつけ、マナー」など同じように教育していてもいいのでは？しかし、幼保育園で学んだ良い習慣などが小学校にはいると全く生かされていない今の教育もどうかと思う。食後の歯磨きやそのほか幼保小中と続けていける習慣があってもいいのでは。

○私の子どもが通っているところは場所が同じなだけで一日中幼稚園児と保育園児が一緒になって保育されているわけではないので、今までの質問にお答えするのがとても困難である。ただ、今の段階では、たまに一緒に体操をしたり、園外保育に行ったり、お楽しみ会を開いたり、交流を持つ中で、お互いに悪い影響を受けたり与えたりという感じはないので、非常によいことだと思う。子どもも幼稚園以外に友達ができたことを喜んでいるし、(今後はどのような方向に進んでいくかわからないが)、今くらいのレベルの幼保一体ならば通園させてもらえます。

○保育園にはいれない待機園児が多く、なかなか女性が子どもを産んでから社会にでて働くことが難しく、結婚をしない女性が増えて幼稚園や学校が空き教室が多くあるので、是非このような幼稚園と保育園が一体化しているところが多くできればよいと思う。幼稚園だけ保育園だけのところより、先生方がいろいろな気苦労があると思うが、このような幼稚園に通えてよかったと思う。

○幼保が一緒になって保育園の方は幼稚園の行事に参加できたりメリットがたくさんあるような気がする。幼稚園の方は給食室を使用させてもらえて、カレー会食やもちつきなどの行事ができることは嬉しいが、保護者の側からすると負担が増えそうで心配。自分の子どものためと思って親としてはがんばっているのですが、それが保育園児も含めてと思うとち



よっと不満があります。心が狭いようですが。

○交流保育といっても子ども同士は行事での交流はあるが通常保育ではほとんど遊ばない様子なので、親としても特に交流保育に疑問を持ったり不安を感じたことはない。一番思ったのは、保育時間と給食が異なることである。が、子どもたちはそれなりに理解しているようだ。

○基本的に同じ年齢の子どもと接することが多いようなので、特に問題となることは無いと思う。園外保育に関しても同年齢との交流のようなので、もっと幅広く年齢と接触できたほうがよいと思う。ただ、いつも見ているわけでも、事細かく説明を受けているわけではないので、わからない。

○私自身はよいことだと思う。以前テレビでもやっていたが、もう少し手軽に子どもを、少しの時間でも見てもらえることができればと思う。子どもが楽しみながら行くというのが一番よいと思う。

○定期的に交流保育はあったが、先生からは「今日はこういう活動をしました。こうでした」と説明はあるものの、保護者としてみていたわけではないので、深くは良い点について述べられないが、特に気になることはなかった。異年齢の子どもとのかかわりもあり、子どもにとっては経験できることも増え、幼稚園だけでは経験できない、保育園だけでは経験できないことができ、互いの子どもたちに良い影響があると思う。また、先生方は大変な面もあるかもしれないが、園の先生同士の意見の交換や協力など良い面が多いと思う。

○うちの幼稚園は保育園と交流、小学校との交流、中学校との生徒もおにいちゃん、おねえちゃんが来てくれたよって子どもが喜んで、楽しみに待っている、そんな幼稚園です。うちの子は食わず嫌い、引っ込みじあん・・・でしたが、いろんな交流の中で変わっていったと思う。幼稚園から帰ってきた子どもに、今日はあかちゃん抱っこできた？と聞くと、お母さん、赤ちゃんは寝るのが仕事だから今日は抱っこしてはダメなの、って言われました。なんだか嬉しくて、思わず笑ってしまいました。私はもっとこのような形が増えていってくれることを望み、下の子が入るころにはもっと盛んに交流が進めばと思う。

(老人ホームとも)

○保育園の先生方と協力して田植やもちつきなどの行事の時は、とても子どもたちのためになっているので、特にリスクはないし、学校に行ってから友達がいれば安心できると思う。保育の様子はほとんどみる機会がないので、影響についてはよくわからないが、園の行事に参加したり、お互いに色々な体験ができるのでとてもよいと思う。公立幼稚園が徒歩でいける範囲内であって、希望すれば入れるので、とても恵まれていると思う。

○うちはたまたま一人の保育園児のお母さんと知り合いだったので、午後から遊んだりして幼稚園でも仲良く遊んでいるようだ。他の保育園のお母さんたちとも仲良くなれてり、自分自身にもよいことだと思う。しかし、実際は保育園の保護者の方は仕事をしている人ばかりで、お迎えも夕方である。ほとんど、幼稚園の保護者とは顔をあわせることがない。保護者同士の交流があったらまた楽しいのかな？と思う。仕事をしている方はむずかしいですよ。時間を取るのも。

○園側は「交流」に力を入れているのがよくわかるが、親には「報告のみ」のため、実際にどんな交流がおこなわれているのか不明。「親」の立場からは、保育園、幼稚園を分けて考えている人が多いと思う。子だけではなく、親の交流が多少あればよいと思う。

---

\*1) 2000年4月から社会福祉法人以外の主体による認可保育所の設置が認められ、平成12年度中に設置認可された保育所191カ所の14%を占める。さらに、東京都三鷹市や文京区では、公立保育所の運営をベネッセに委託、大阪府池田市では公立保育所を学校法人の幼稚園に移管した。

\*2) ①横浜保育室事業（1997年度から幼稚園や認可街の保育室を利用して3才未満児の保育を実施）、②世田谷保育室事業（私立幼稚園で3歳未満児の保育を実施）、③東京都の認証保育所制度（東京都が独自の基準に基づいて認証保育所として助成、施設と利用者などが直接計画を結ぶ）

\*3) 東京都世田谷区（1999年）、墨田区（2001年）、練馬区（2001年）などで実施。